

相模原市保育連絡協議会 保育専門講座Ⅱ アンケート結果

「より良い保育現場を目指して！」

～実習生を通して保育を振り返る～

講師：松浦 浩樹氏

平成30年9月21日（金）18：30～20：30

参加者 186人（公立38・私立148） アンケート集計 141枚

- ・自分の保育を見直すきっかけとなり勉強になった。(多数)
- ・実際の実習生のエピソード等も多く聞けて大変参考になった。(多数)
- ・実習生の立場から見た現場を知ることができ良かった。自分が実習生だったころのことを思い出すきっかけになった。(多数)
- ・とてもわかりやすい講座でした。学び発見があった。もっと聞きたいと思った。(6)
- ・実習生をはじめ、若い世代の声、その周りを考えるきっかけ・ヒントとなり良かった。(3)
- ・あまり聞く機会のない実習生の思いを知ることができました。(4)
- ・実習生への対応や伝え方(思いや気持ちに寄り添った声掛け)などもっと気にかけてながら会話をしなければと思った。(4)
- ・色々な世代が集まる場だからこそ良い内容の講座だったと思います。
- ・保育の質に関わる貴重なお話を聞くことができました。
- ・スモールステップの言葉を口にしていましたが明確化していきたいと思います。
- ・20代～30代についての話が面白かった、その後の質問コーナーも面白かったです。
- ・普段の保育以外の時間について振り返る良い時間でした。
- ・口は災いのもとなので気をつけたいと思いました。
- ・もう少し具体的に実習生にどう対処したら良いか知りたかったです。有難うございました。
- ・現代の若者の人間性を背景も含めて知ることができた。(私が基準・見通し・準備・予測が苦手)
- ・実習生(今の時代の学生)の育ち、育ってきた環境が見えたように思います。
- ・今の若い子の育ってきた時代を知り、否定的にみていた自分を反省しました。
- ・いつの時代の人にも課題はあるとのこと、自分の事も考えながら(若い時)保育を同じ気持ちでゆとりを持って関わりたいと思いました。
- ・保育士としての常識・資質が実習生を通して明るみに出ると思った。保育士になりたいと思っている貴重な学生さんに寄り添い、一緒に仕事の楽しさを伝えていきます。
- ・一人でも多く保育者になりたいと思える人が増えるように、実習生を受け入れ、見守っていきたい。
- ・保育士を目指す学生たちに保育の仕事の楽しさ・素晴らしさを感じてもらいたい
- ・保育士になることをあきらめないようにサポートしたいと思う。
- ・今度実習生が入る予定なので今までと違う気持ちで対応することが出来そうです。
- ・実習生に親身になって話を聞けるようにしたい。・夢を与えられるような保育実習をさせてあげたい。・実習生の立場になって実習生に接していきたい。
- ・今の若者を私たち保育士が育てていると考えると責任の重さ・保育の質について思いなおしました。・実習生の声を通して、自園の保育を見直す良い機会となった。

- ・質問のアンケート方法は良かった。質疑応答で具体的なアドバイスがあり有意義な時間となった。(5)
- ・保育士を目指す学生たちに保育の仕事の楽しさ・素晴らしさを感じてもらいたい
- ・今の学生や20代の人たちの考え方が自分の感覚以上にギャップがあるのかなと感じた。
- ・子どもに対して「なんで(どうして)なの!？」と言ってしまっているなと思い反省した。(2)
- ・子どもとの関わりでバタバタしていると言い方がキツくなってしまいう事があるので、自分を見直したいと思った。
- ・自分を振り返り、雑談をしてなかったか?子どもたちへの言葉づかいは?と考えた。実習生が来てからではなく日頃から注意が必要だと思いました。
- ・私も実習中に他の保育者の悪口を言っている保育者を見かけたことがあった。本人は何気ない一言でも私の中では印象に残り、「自分も何か言われているのではないか?」と不安になった。実習生が来てからではなく日頃から観られている意識を持って保育を行いたい。
- ・当園でももしかしたら今日聞いたような言動があるかもしれないという思いでしっかり受け止め、よりよい保育を目指していきたいです。
- ・実習指導をしているが、思い当たる部分があったり、そういうことだったのかと思う部分がたくさんありました。
- ・普段何気なくしていることが視点が変わると違うものになるという気づきを得ました。
- ・(保育士試験合格者)現場に出るのが初めてである事、雑な保育が行われていたり、人の悪口を子どもに聞こえるように言っていたりする保育者を見て「こんなはずではなかった」と感じる事、子どもと活き活き過ごす保育者を見て「素敵だな」と感じる事は実習生も保育士試験合格者も変わりはないのだと感じた。
- ・私も実習生の時に「あ～、この忙しいのに・・・」「学生はいいよな～」と聞いて「あ～あ、まいったな～」と思いました。その時「そりゃそうだ、でも頑張ってみ返してやる」と思ったことを思い出しました。今でもそう考えてくれる学生はいないのでしょうか?少しはいてほしい。
- ・園の理念や方針が現場末端まで徹底していない事が問題であることに共感します。研修の場面などはそれを伝えるチャンスだと思う。
- ・とても参考になり、良かったです。それをどう解決するか、行動するかは迷うところです。

<若い保育士の声>

- ・保育士2年目。人としての自分の弱い部分、保育者としての弱さを改めて感じさせられた。
- ・自分の世代の話が多く、耳の痛い場面もあったが、自分自身を見つめ直すきっかけになった。保育中の姿勢を今一度見つめ直してより良い保育をしていけるように努めたいと思います。
- ・新任の自分にとって、毎日が初めてです。今日の研修に参加し、自分の何かが変わった気がします。
- ・新任1年目です。実習生だった時のことを思い出しました。自分が実習生として感じたこと今後受け入れる際に活かしていきたいと思いました。(多数)
- ・自分を振り返った。日々の保育を振り返った。改めて原点に戻れた気がした。(多数)
- ・1年半前は松浦先生の授業を受けていたので懐かしい気持ちでした。
- ・松浦先生の講義を再び受けることが出来て良かったです。子どもへの対応や言葉使いなど、ドキッとすることがたくさんありました。言葉使い等も慣れてくると荒い口調になってしまうので気を付けたい。
- ・今の若者は「そんなに頑張っていないのに、自分は頑張っている」と思っているという話は自分に当てはまると感じた。気をつけたいと思う。

- ・私は新卒なのでどのような立場で聞いたら良いかわかりませんでした。・一つの園の体験が全ての園のイメージになる。実習生の気持ちなど共感できることが多かったです。
- ・新卒なのでとても気持ちがわかりました。
- ・今年保育士になりました。講座は自分の事を言われているようでした。実習生対策というよりは上の先輩方がどう思っているかと学ばせていただきました。
- ・20代の間からすると全員が全員そういうわけではないという事も一言伝えていただきたかった。
- ・20代、5年以内の保育士として、どちらの立場としても考えられました。そう思われているということもわかり、言動に気をつけなくてはと思いました。

<中堅・ベテラン保育士の声>

- ・実習生は自分の思いや実習で感じたことを声にすることが少なくなっているため、実際に働いている側は、感じ取ることが難しいと思うが、保育中の行動や言葉使いは気をつけたいと思った。
- ・実習生だけでなく、新任保育士の指導の話が聞いて良かった。
- ・若い世代の指導が難しいと感じていたが、その子の育ちの問題だけでなく「時代の違い」なのだという話を聞き、理解し接していく必要性を強く感じた。(4)
- ・同じ保育者として20代の方との付き合い方・考え方がわかったので学んだことを活かしていきたい(3)
- ・いつの時代も人を育てる悩みはあると改めて思う。自分も1年目に「新人類」と言われたことを思い出した。
- ・若い世代を育てることの難しさを改めて感じるとともに、自分たちの保育で反省することはないかと考えさせられた。わかりやすく、具体的に指導できるよう気を付けていきたい。
- ・保育者を育てることは子どもたちにとってもより良い保育ができると思います。大変ですが子どもの為、自分たちの為、勉強しなくてはと思いました。(2)
- ・若い世代の先生たちに即答ではなく相手の成長を見守る時間を与え、丁寧に関わることも大切だということが分かった。
- ・若者の現状が時代の子として背景を知ることができたのは良かった。こういった世代が、実習生だけでなく子育て世代の親になることを考えると保護者対応も考えていく必要を感じた。
- ・「いいんじゃない まずやってみよう」と私はよく言います。それは、やってみないと力が出ないと思うからです。もちろん100%フォローするつもりで話しています。言葉って難しいですね
- ・「いいんじゃない これだ」と言われたことがあるし、後輩にも言ったことがあり、ハッとしました。
- ・後輩に強く言って自信を失わせたくもないし「いいんじゃない」と返すこともあった。考えるきっかけとなった。
- ・若い人に対する伝え方は難しいと感じる。今日聞いたことはわかっているが・・・というところもある。
- ・今中堅として後輩を指導していますが、ネグレクトな指導の仕方に自身がなっているかもと気付かされた。
- ・学生、若い人の思いを受け止めることも大切かと思いますが、時には叱ることも必要だと思います。客観的に他の大人からの指摘を受けることも人としての育ちになるのではと思いました。
- ・就職してから強制(?)のように言ってもらえる事が有難かったと感じています。優しく言ってもらってしまっていたら保育の意識は高くなかったであろうと思います。辞めてしまうのでは優しくされてなにも任せてもらえない環境のほうが腹立たしいかなと思うし、強い口調で言われてこそ指導として成り立つのではないかと思います(20代)

- ・若い方への接し方が難しいのは理解しているつもりですが、今日の研修だから何をのところが今一つ理解できませんでした。

<子育て>

- ・高校4年生の娘がいます。親としての関わりにも反省します。どのようなまなざしで育てていくのか考えさせられました。
- ・中1の娘にも通じるところがあり実感した。対応の難しさを感じる。
- ・子どもに寄り添う保育を園全体で考えながら取り組んでいるが、寄り添う事は大切だが、寄り添うだけではダメなんじゃないかと考えさせられる所がありました。
- ・子育てを園ばかりに任せるのはどうかなと感じます。子どもを育てられない親を私たちが生産しているという言葉に共感してしまいました。
- ・社会がお母さんに優しくすればするほど打たれ弱い母を作っていたのかな
- ・時代の子・・・母子手帳副読本に変更があったという事に関係していたというのに“なるほど”と思った。
- ・日頃からこのままでは（母親世代を育てなければ）この先子どもたちが成長したらどうになってしまうのだろうという不安はあり、保護者への寄り添いと正しいと思われる導きとの間で悩むことが多くあります。
- ・私たちの仕事って何だろうと不安が大きくなりました。
- ・これからの若い人は傷つかず傷つけないように気を配りながら、それに疲れて病んでいくのかなと心配になりました。

<大切なこと>

- ・実習生・新任保育士の指導を通し保育として大切なチーム作りの重要性を改めて感じた。(2)
- ・10年以上前何を見て、この園に就職したいと思ったか？それはやはり人間関係（人柄）でした。そして今も続けられる理由の1番もそれです。保育の質はもちろん、職場環境を良くしていきたいと思えます。
- ・現場の人手不足がいろいろなことの要因になっていると感じる。現場の職員にもゆとり（心の）が欲しい。
- ・保育の現場はやることが多く保育士さんたちの心が普通でなくなってしまうのか？？いろいろな人がいるが
プライドを持てるような仕事にしたいと思う。

〈今後受けたい講座〉

- ・松浦先生の話をもっと聞きたいです。
- ・良いエピソードをたくさん聞きたいです。
- ・保護者支援
- ・保護者との関わり方について
- ・事故・ケガの対応について
- ・行動療法士・言語療法士さんの話をききたい
- ・安田式体育あそび研究所 居関達彦
- ・保育ですぐ使えるあそび
- ・コミュニケーション・対応・助言講座
- ・(手作り)おもちゃや歌・手あそびのレパートリーの増やし方、アレンジの仕方について。
- ・障がい児への保育のすすめ方等
- ・洗足こども短期大学 神蔵幸子先生
- ・園内研修の進め方・内容など
- ・感染症や予防接種に関すること
- ・防災に関すること
- ・音楽ムーブメント (音楽を使った療育)
- ・リトルツリー (野外活動) 野村直子さん
- ・掛札先生の保護者とのコミュニケーションスキル
- ・保育実践講座 (3)